

ありがとうを
未来へつなぐ。



第96期のご報告 (2016年度)

2016年4月1日から2017年3月31日まで



INVESTOR EXPRESS



株主・投資家の皆さまへ

Contents

- 1 株主・投資家の皆さまへ
- 3 特集(複々線の完成(2018年3月予定))
- 5 トピックス
- 7 セグメント別の概況
- 9 連結財務諸表(要約)
- 11 株主インフォメーション
- 13 会社の概要
- 14 CSRの取組み

小田急電鉄株式会社



本年4月1日に取締役社長に就任いたしました
ほしの こうじ
星野晃司でございます。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、事業環境の変化に対応すべく、2015年に「長期ビジョン2020」を策定し、グループ経営理念の実現とさらなる事業成長を目指しております。

そのような中、2017年4月に小田急線開業90周年を迎えたほか、2018年3月には小田急の積年の夢ともいふべき複々線化が実現いたします。この複々線完成を契機として、鉄道事業をはじめとしたグループ各事業が展開する沿線エリアの事業基盤を強固なものとするとともに、沿線外への進出や新規事業の開発等を通じて、「長期ビジョン2020」の実現に向けた取組みを加速させてまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長 星野晃司

第96期(2016年度)連結決算の概要

営業収益は5,230億3千1百万円と、前連結会計年度に比べ67億8千万円の減少(前期比1.3%減)となりました。

これに伴い、営業利益は499億4千6百万円と、前連結会計年度に比べ29億8千7百万円の減少(前期比5.6%減)となりました。

一方、経常利益は466億3千8百万円と、営業外損益の改善等により、前連結会計年度に比べ9億4千3百万円の増加(前期比2.1%増)となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は260億6千7百万円と、特別利益の減少及び特別損失の増加等により、前連結会計年度に比べ14億3千万円の減少(前期比5.2%減)となりました。

第97期(2017年度)の見通し

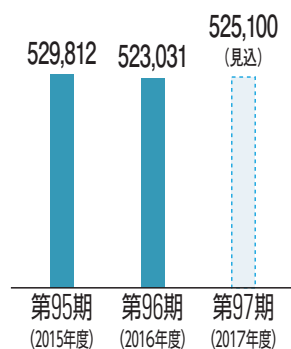
流通業において、外部への株式譲渡に伴いホームセンター事業を営む(株)ビーバートザンが連結除外となるほか、百貨店業での減収を見込む一方、それ以外の事業で増収を見込むことから、営業収益は5,251億円(前期比0.4%増)を見込んでおります。

これに伴い、営業利益は502億円(前期比0.5%増)を見込んでおります。

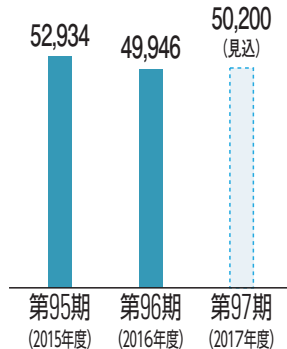
また、営業外収益の減少等により、経常利益は455億円(前期比2.4%減)を見込む一方、特別損失の減少等により、親会社株主に帰属する当期純利益は290億円(前期比11.2%増)を見込んでおります。

連結業績ハイライト (単位：百万円)

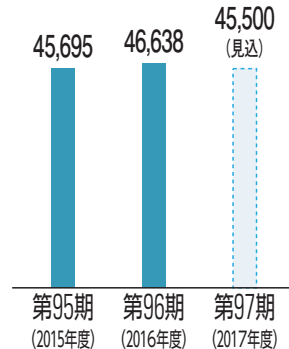
営業収益



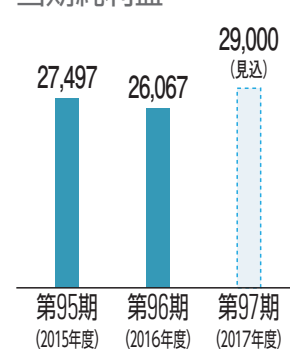
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



複々線化 事業の概要

当社では、輸送需要に対応するため、列車の増発や長編成化をはじめとする輸送力の増強に努めてものの、従来の複線設備では輸送力に限界があるため、朝のラッシュピーク時間帯においては、弊害を抱えたままとなっていました。
このような現状を抜本的に改善し、快適な輸送サービスを実現するため、上下線を各2本ずつ実施しています。

1 複々線完成による効果

複々線完成により、朝のラッシュピーク時間帯に列車の増発が可能となり、混雑が緩和されるほか、各駅停車と急行などの優等列車が別々の線路を走ることにより、所要時間が短縮されます。

複々線完成による ラッシュピーク時間帯における 輸送改善『3本の柱』

- 混雑緩和による快適な輸送環境の提供
- 所要時間短縮による都心方面へのアクセス向上
- 千代田線直通列車増発による都心中心部への利便性拡大

● 列車増発による混雑緩和

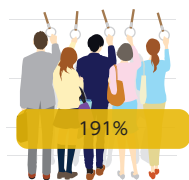
ラッシュ時間帯の最混雑区間
(世田谷代田駅→下北沢駅)における変化

ピーク1時間あたり、

現行
27本

完成後
36本

混雑緩和のイメージ(混雑率)
2015年度時点



体が触れ合い
やや圧迫感がある

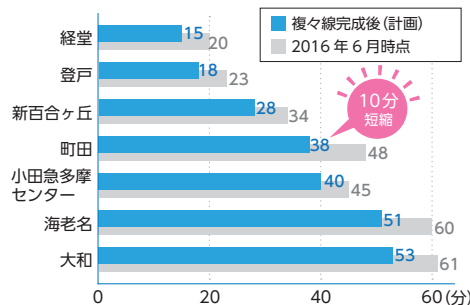
完成後



新聞・雑誌を楽な姿勢
で読むことができる

● 主な駅から新宿までの所要時間の変化

平日の8:30頃新宿に到着する列車



● 千代田線直通列車を増発

ピーク1時間あたり、

現行
5本

完成後
12本

※新宿方面へは、現行22本→完成後24本

複々線完成による増収効果

2020年度、当社鉄道事業における旅客運輸収入において

50億円程度増収

を目指します

(2015年度比較)



まいりました。こうした輸送力増強策によって混雑率は若干緩和された過密ダイヤによる所要時間の増大や、混雑率が200%を超えるといった

計4本の線路にする『複々線化事業』を東北沢～和泉多摩川間(10.4km)で

2 特急ロマンスカーにおける輸送改善

2018年3月(予定)のダイヤ改正による改善

●通勤時間帯における特急ロマンスカーの増発

【平日 朝方ラッシュ時間帯における増発】



【平日 夜間時間帯における増発】



●箱根観光輸送の強化

【新型特急ロマンスカーを製造】

展望車両のある**新型特急ロマンスカー・70000形**が営業運転を開始

【わかりやすい時間に展望車両を運行】

人気の高い**土休日の午前中**に新宿を発車する「スーパーはこね号(新宿～小田原間ノンストップ)」は毎時00分に運行

9:00発、10:00発、11:00発(新型、VSE)

【所要時間の短縮】

新宿～箱根湯本間の特急ロマンスカーの所要時間を最速80分台→**70分台に短縮**

特急車両のリニューアル・新造による改善

●特急ロマンスカー・EXE(30000形)のリニューアル



特急ロマンスカー・EXEα の概要

- 編成定員：578名(全席指定)
- 投資額：約13億円(最初の1編成分)
- 営業運転開始：2017年3月

●新型特急ロマンスカー・70000形の製造



【コンセプト】
箱根につづく^{とき}時間を
優雅に走るロマンスカー

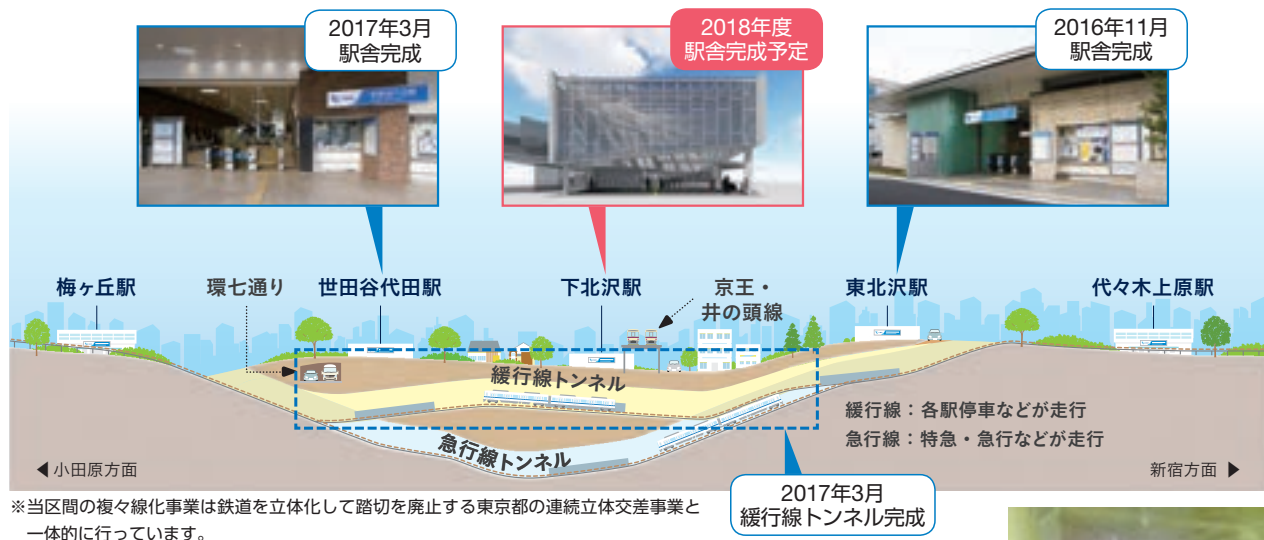
新型特急ロマンスカー・70000形の概要

- 製造両数：2編成計14両
- 編成定員：400名(全席指定)
- 投資額：約40億円(2編成合計)
- 営業運転開始：2018年3月(予定)

複々線化工事の進捗状況 ～2018年3月いよいよ完成～

現在工事中の東北沢～世田谷代田間(1.6km)では、2016年度末までに緩行線トンネル本体の構築や東北沢・世田谷代田駅の駅舎工事が完了するなど、2018年3月の複々線完成に向けて鋭意工事を推進いたしました。

2018年3月 複々線完成時の縦断面イメージ



今後の取組み

2018年3月の複々線完成に向けて、軌道、電路及び設備等の工事を進めております。また、下北沢駅の地上部では、本年秋頃に新しい改札口(南西口)と本設トイレを使用開始する予定です。

その他、京王電鉄(株)による京王井の頭線橋梁架設工事も引き続き推進されており、橋梁架設後は下北沢駅舎の完成(2018年度予定)に向けて、駅舎新宿側の工事に本格的に着手いたします。



小田急本厚木ミロード「ミロード2」が リニューアルオープン

第1弾：本年4月

第2弾：本年6月

本厚木駅に隣接する商業施設、小田急本厚木ミロード「ミロード2」の、2・5階並びに6階フロアにおいて、本厚木駅前エリアとしては初出店となる家電量販店を含む、合計6店舗がリニューアルオープンいたしました。

今回のリニューアルは、「便利でスピーディーに買い物ができるショッピングセンター」をコンセプトに、お客さまのライフスタイルに合うよう店舗構成を見直しております。これにより、駅近の好立地でのワンストップショッピングを実現し、幅広いお客さまが快適・便利にお買い物を楽しめる、より魅力的な商業施設として「ミロード2」が生まれ変わりました。



増床した「ユノクロ」(上)、新規出店の「ノジマ」(下)の店舗
(イメージ)

「小田急トラベル旅行プラザ」を展開

(株)小田急トラベルでは、本年4月より、同社の店舗をリニューアルし、「小田急トラベル旅行プラザ」として展開しております。

これは、(株)ジェイティービーとの連携を強化することにより、駅構内や商業施設を中心とする利便性の高い立地で、地域住民の方々にさらに質の高いサービスを提供することを目的に行うものです。同社では、2018年3月までに計10店舗を順次リニューアルオープンする予定です。



リニューアル1号店となった経堂店

「手づくりパン専門店 HOKUO」 としてリブランド

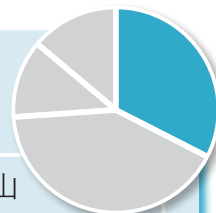
(株)北欧トーキョーでは、「安心・安全・美味・健康」をキーワードに、首都圏の駅ビル・駅構内等で展開しているベーカリーショップ「HOKUO」を、本年3月より順次、「手づくりパン専門店 HOKUO」としてリブランドしております。店舗の内・外装等の変更に加え、安心安全素材として注目が高まっている国産小麦を使用した「国産小麦シリーズ」商品の発売を開始いたします。



運輸業

売上高構成比

32.5%



営業収益

172,863百万円

(前期比 2.7%増)

営業利益

28,601百万円

(前期比 4.0%減)



前期に箱根大涌谷周辺での火山活動の活発化に伴う影響を受けた箱根方面の観光輸送において改善がみられたほか、当社の鉄道事業において、雇用環境の改善等により定期的輸送人員が増加したことなどから、営業収益は増収となりました。

一方、営業利益は、当社の鉄道事業において、人件費等の費用が増加したことなどから、減益となりました。

流通業

売上高構成比

41.4%



営業収益

219,285百万円

(前期比 2.5%減)

営業利益

3,175百万円

(前期比 18.8%減)



百貨店業において、衣料品等の販売が減少したことなどから、営業収益は減収となりました。

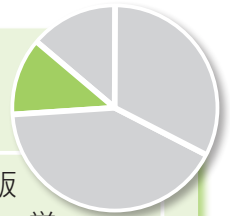
これに伴い、営業利益は減益となりました。

※売上高構成比は外部顧客に対する売上高に基づき算出しております。

不動産業

売上高構成比

12.3%



営業収益

69,910百万円

(前期比 4.2%減)

営業利益

12,377百万円

(前期比 6.2%減)



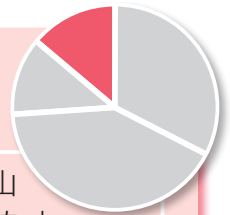
不動産分譲業において、住宅販売戸数が減少したことなどから、営業収益は減収となりました。

これに伴い、営業利益は減益となりました。

その他の事業

売上高構成比

13.8%



営業収益

99,511百万円

(前期比 0.6%減)

営業利益

5,661百万円

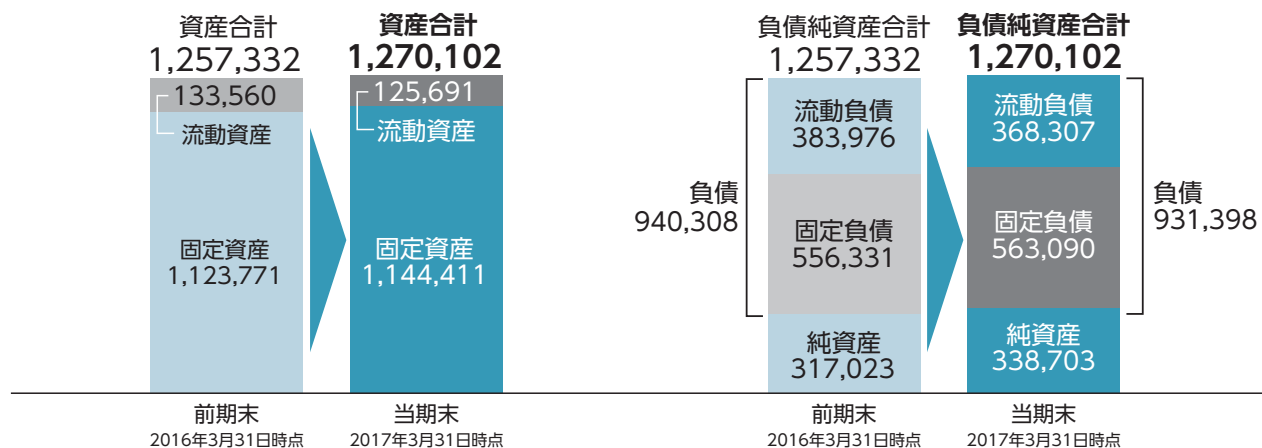
(前期比 3.6%減)



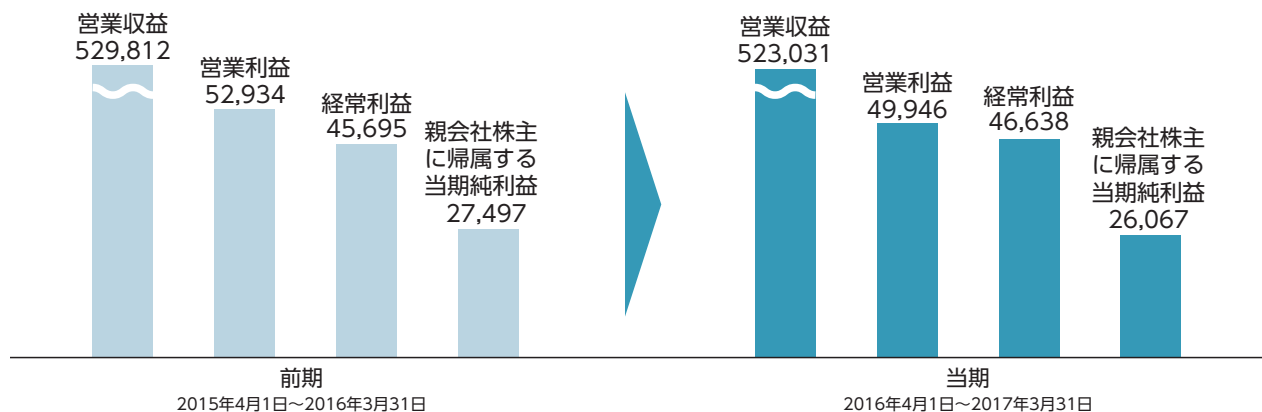
前期に箱根大涌谷周辺での火山活動の活発化に伴う影響を受けたホテル業のリゾートホテルにおいて、客室稼働率が改善したことなどから増収となったものの、「ハイアットリージェンシー 東京」において、改修工事に伴う売止め等により減収となったことなどから、営業収益は減収となりました。

これに伴い、営業利益は減益となりました。

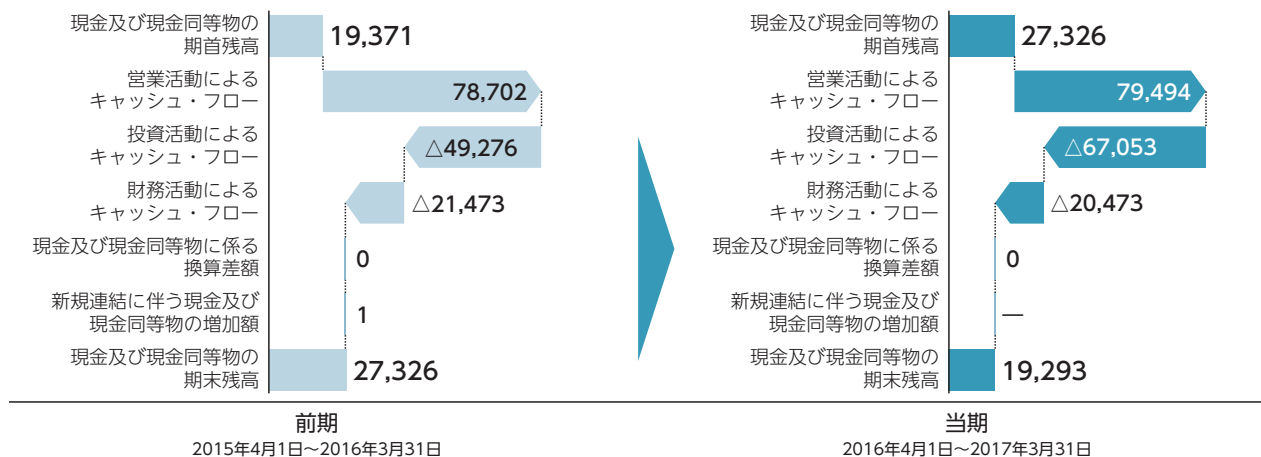
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



Point 連結決算のポイント

▶ 資産の部

賃貸物件の取得に伴う有形固定資産の増加等により1兆2,701億2百万円(前期比127億7千万円増)となりました。

▶ 負債の部

有利子負債の減少等により9,313億9千8百万円(前期比89億9百万円減)となりました。

▶ 純資産の部

親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加等により3,387億3百万円(前期比216億7千9百万円増)となりました。

▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益397億1千1百万円に減価償却費や法人税等の支払額等を加減した結果、794億9千4百万円の資金収入(7億9千1百万円の資金収入の増加)となりました。

▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出の増加等により、670億5千3百万円の資金支出(177億7千6百万円の資金支出の増加)となりました。

▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

204億7千3百万円の資金支出(9億9千9百万円の資金支出の減少)となりました。

株主優待制度のご案内

500株以上保有の株主さまに、半期に1回保有株式数に応じた優待乗車証のほか、小田急グループ200以上の店舗・施設でご利用いただける優待割引券をお送りいたします。

優待乗車証と優待割引券はお手元に届いたときからご利用いただけます。

株主優待乗車証

保有株式数	乗車証の種類			
	小田急線全線 優待乗車証		小田急線全線・ 小田急バス全線優待乗車証	
	回数券式 [※]	定期券式	定期券式	
30,000株以上 (①～③より選択)	①	30枚	—	1枚
	②	60枚	1枚	—
	③	140枚	—	
15,000株以上 (①～②より選択)	①	30枚	1枚	—
	②	110枚	—	
10,000株以上		80枚	—	
5,000株以上		40枚	—	
3,500株以上		30枚	—	
2,500株以上		20枚	—	
1,500株以上		10枚	—	
500株以上		4枚	—	



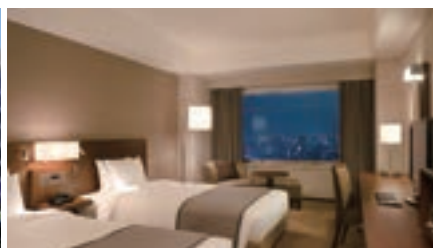
3年以上継続保有 追加枚数
小田急線全線 優待乗車証 回数券式 [※]
5,000株以上保有 6枚追加
1,500株以上保有 3枚追加
—

※回数券式は1枚1乗車有効

そのほかの各種ご優待例



小田急百貨店、Odakyu OX
お買物割引券



小田急グループホテル
宿泊割引券、レストラン・バー割引券



箱根湯寮ほか
箱根エリア施設各種割引券

※掲載している株主優待制度は一例です。株主優待制度の詳細に関しては、当社ホームページ「株主の皆さまへ」をご覧ください。
※一部割引除外となる場合がございます。また、優待の内容については変更する場合がございます。

15,000株以上の 株主さまの特典



小田急藤沢ゴルフクラブ
1,000～3,000円割引



小田急西富士ゴルフ倶楽部
約2,000～6,000円割引



小田急電鉄カレンダープレゼント
※9月30日時点の株主さまが対象

今後の日程

- 2017年 9月30日：基準日(権利付最終日26日)
- 2017年 11月 下旬：株主優待ご送付
※掲載の内容は2017年6月時点での予定です。

小田急

検索

www.odakyu.jp/

第96回定時株主総会決議等ご通知

2017年6月29日開催の第96回定時株主総会において、以下のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

報告事項

- ① 第96期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
上記事業報告、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果についてそれぞれ報告いたしました。
- ② 第96期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)計算書類報告の件
上記計算書類の内容について報告いたしました。

決議事項

●第1号議案 剰余金の配当の件

原案のとおり承認可決され、第96期の期末配当について以下のとおり決定いたしました。

- (1) 配当財産の種類
金銭
- (2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額
当社普通株式1株につき金10円 総額3,624,026,690円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日
2017年6月30日

これにより、株式併合後の基準で換算すると、当期の中間配当金(1株につき9円、株式併合前においては1株につき4円50銭)を加えた1株当たりの年間配当金は、前期(1株につき18円、株式併合前においては1株につき9円)に比べ1円増配の19円となりました。

●第2号議案 取締役15名選任の件

山木利満、星野晃司、小川三木夫、金子一郎、下岡祥彦、山本俊郎、大須賀頼彦、荒川 勇、五十嵐秀、森田富治郎、野間口有、中山弘子、小柳 淳、抱山洋之の各氏が再選されるとともに、端山貴史氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。なお、上記のうち、森田富治郎、野間口有、中山弘子の各氏は社外取締役であります。

●第3号議案 取締役の報酬額改定の件

原案のとおり承認可決され、取締役の報酬額を「年額5億5千万円以内(うち社外取締役6千万円以内)」に改定いたしました。

以上

第96期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」により、ゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。また、銀行等の口座への振込をご指定の方には、「お振込みについて」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたのでご確認ください。なお、すべての方に同封いたしております「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額の確認資料や、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただけます(株式数比例配分方式をご指定の方につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください)。

会社概要

設立	1948年6月1日 (前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立)
本社事務所	東京都新宿区西新宿一丁目8番3号
資本金	603億5千9百万円
発行済株式の総数	368,497,717株
株主数	51,925名 (前期末比 1,550名増)
事業内容	鉄道事業、不動産業、その他事業
従業員数	3,637名

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告により行う。
ホームページアドレス	http://www.odakyu.jp/ir/koukoku/index.html

役員

2017年6月29日時点

代表取締役 取締役会長 執行役員	山木利満	常勤監査役	高原俊二
代表取締役 取締役社長 執行役員	星野晃司	常勤監査役	石井良雄
代表取締役 取締役副社長 執行役員	小川三木夫	監査役	宇野郁夫
常務取締役 執行役員	金子一郎	監査役	深澤武久
常務取締役 執行役員	下岡祥彦	監査役	伊東正孝
常務取締役 執行役員	山本俊郎		
取締役相談役	大須賀頼彦	執行役員	黒田 聡
取締役 執行役員	荒川 勇	執行役員	立山昭憲
取締役 執行役員	五十嵐 秀	執行役員	岩崎佳之
取締役	森田 富治郎	執行役員	水上秀博
取締役	野間口 有	執行役員	鈴木 滋
取締役	中山弘子		
取締役	小柳 淳		
取締役	抱山洋之		
取締役	端山貴史		

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

1 マイナンバー制度とは

マイナンバー制度(※)とは、国民一人ひとりにマイナンバーを配布し、その番号によって複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための新しい社会基盤です。

(※)行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号)

2 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主さまのマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。

主な 支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

3 マイナンバー制度に関する株主さまへのお願い

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社または三井住友信託銀行へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社の口座にて株式を 管理されている株主さま	証券会社とのお取引がない株主さま
お取引の証券会社まで お問い合わせください。	下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。 三井住友信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031

マイナンバーの保護措置・利用範囲・ご提供について

- マイナンバーの取扱いは、法律により厳格な保護措置が設けられております。
- マイナンバーの利用範囲は、社会保障・税・災害対策の行政手続に限定されております。
- 社会保障・税・災害対策に関する事務に限定して、マイナンバーのご提供をお願いすることが可能となっております。

このページでは、当社グループが行うCSR活動についてご紹介をしていきます。

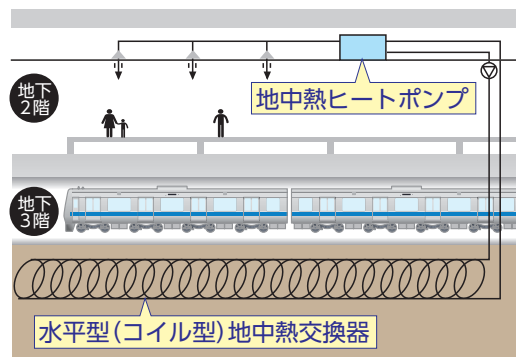
複々線化区間における環境への取組み

複々線化区間にある東北沢駅、下北沢駅、世田谷代田駅においては、地下トンネル構造となったことから、照明の終日点灯や換気・空調などのために電力を要することとなりました。

この環境負荷を抑制するため、上記各駅で太陽光発電システムや自然採光方式(トップライト、ガラス屋根、光ダクトなど)を採用したほか、東北沢駅と世田谷代田駅に鉄道の地下トンネル区間で日本初となる地中熱ヒートポンプシステムを採用した空調を導入するなど、自然エネルギーを効果的に活用しています。

あわせて、LED照明、人感知エスカレーターといった環境負荷の低い機器の導入などを通じ、消費電力・CO₂排出量の削減に努めています。

世田谷代田駅 地中熱ヒートポンプシステムの概要図



光ダクトの概要図

